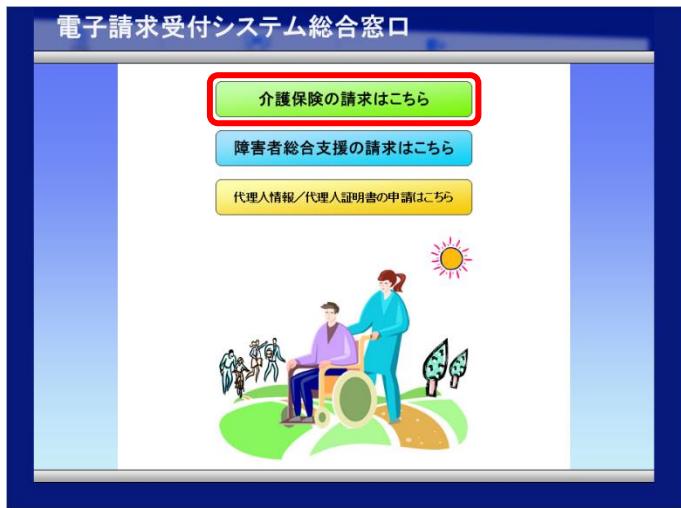


統合インストーラのインストール手順

統合インストーラをパソコンにインストールする操作方法について説明します。

以下の手順で、統合インストーラを取得し、ご利用のパソコンにインストールを行ってください。



- 電子請求受付システム [http://www.e-seikyuu.jp] へアクセスします。
【電子請求受付システム 総合窓口】画面が表示されるので、**介護保険の請求はこちら** をクリックします。

- 《トップメニュー》が表示されるので、**【ログイン】**をクリックします。



- 【ログイン】画面が表示されるので、[ユーザー ID]及び[パスワード]を入力し、**【ログイン】**をクリックします。



4. 《メインメニュー》が表示されるので、【ダウンロード】をクリックします。



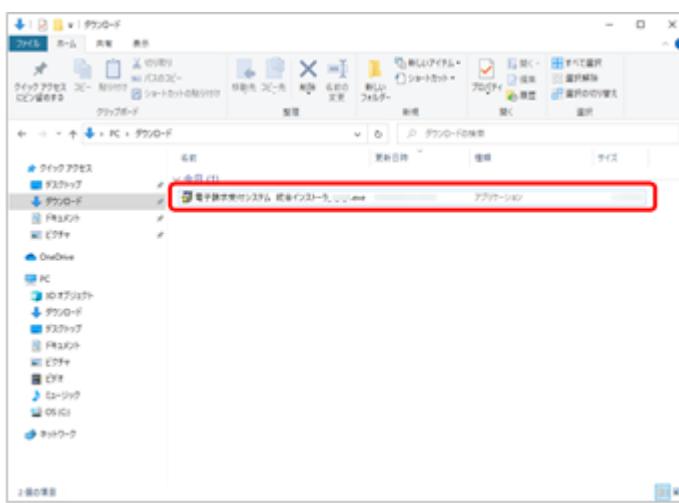
5. 【ダウンロード】画面より[電子請求受付システム 統合インストーラ VerXXX]の【保存】をクリックします。

※ [XXX]は、バージョンを表します。

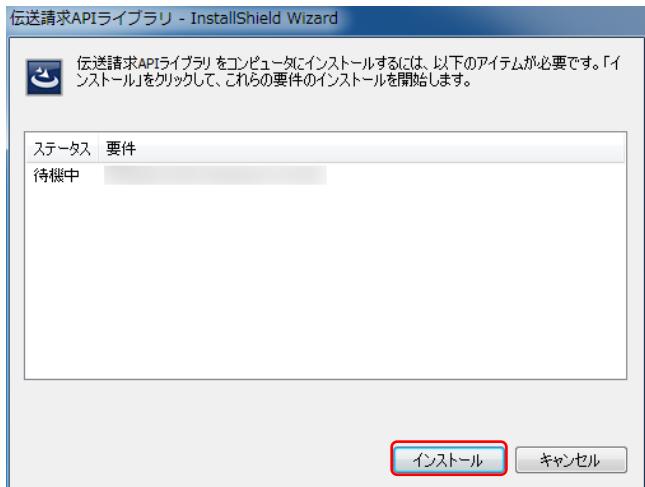


6. 画面上部に通知バーが表示されるので、□をクリックし、保存先のフォルダを開きます。

※ Google Chrome の場合、[P6 Google Chrome でファイルをダウンロードする場合]を参照してください。



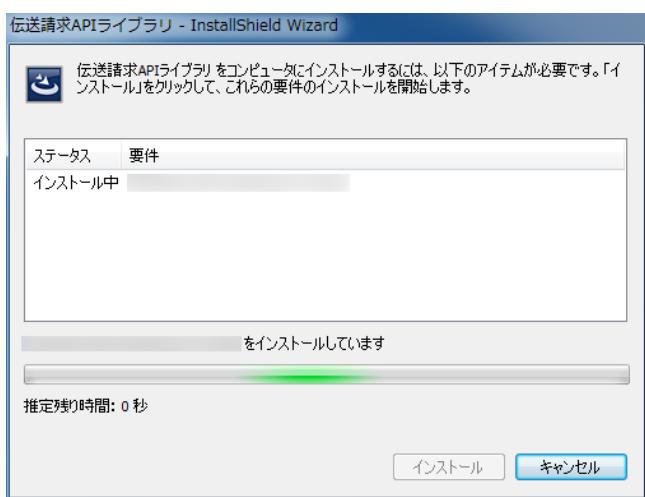
7. 保存先のフォルダが表示されるので、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



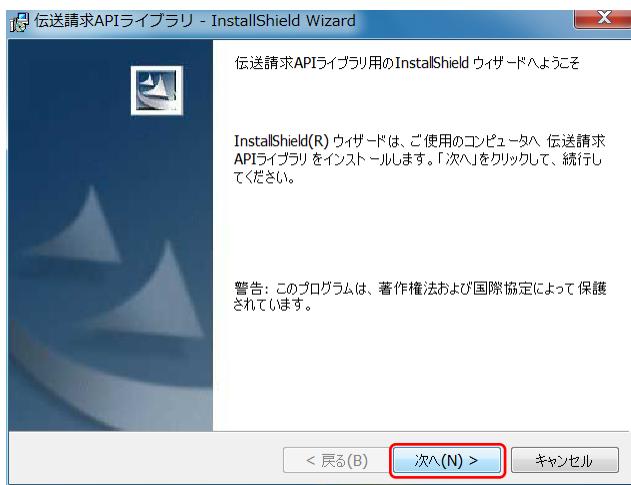
8. 伝送請求APIライブラリのインストールウィザードが表示されるので、[インストール]ボタンをクリックしてください。

※ 必要なソフトウェアがすべてインストールされている場合、この画面は表示されないため、[手順 10.]に進んでください。

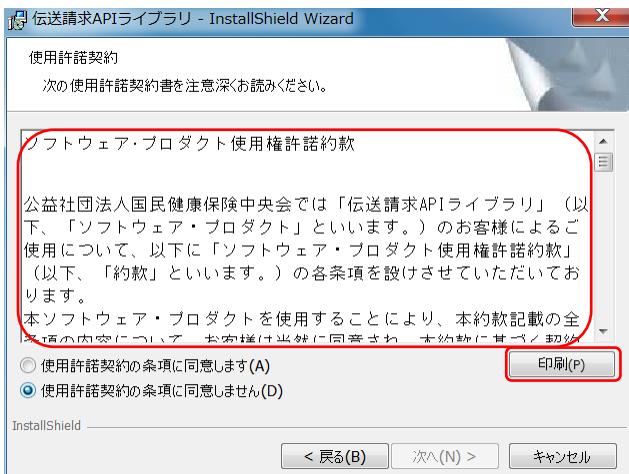
※ 必要なソフトウェアが一部インストールされている場合、インストール対象が画面イメージと異なることがあります。



9. インストール処理が完了するまでお待ちください。

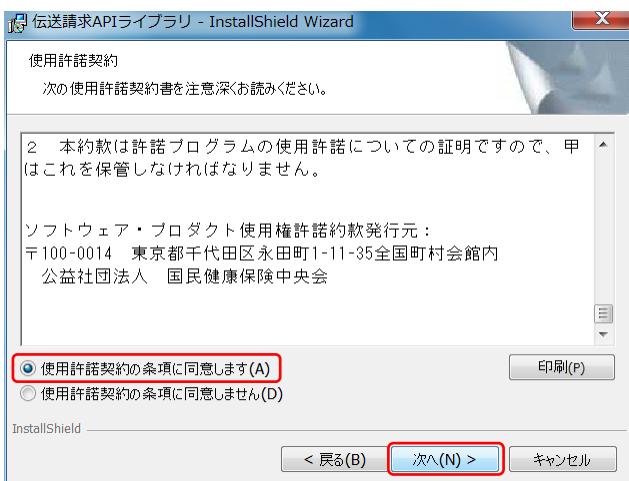


10. 画面のガイドに従ってインストールを行ってください。

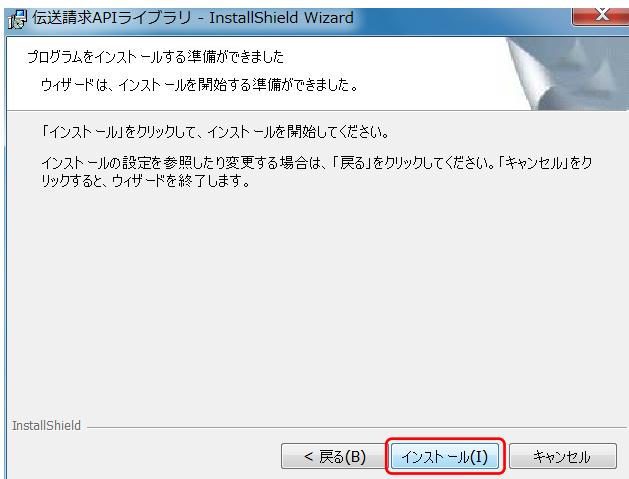


11. 使用許諾契約条項が表示されます。

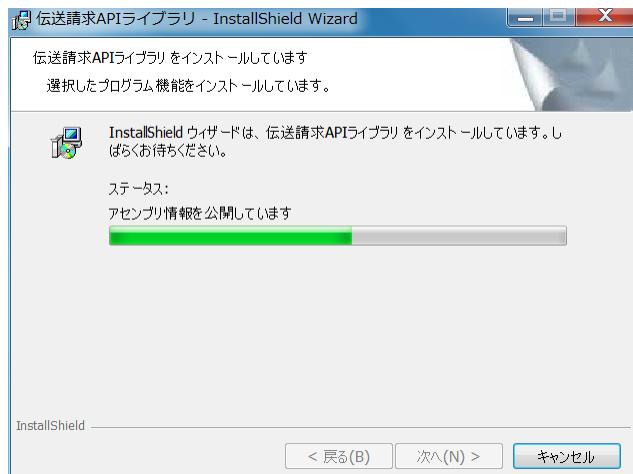
※ 必要に応じて、[印刷]ボタンより《ソフトウェア・プロダクト使用権許諾約款》欄の内容を印刷することができます。



12. 使用許諾契約条項を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



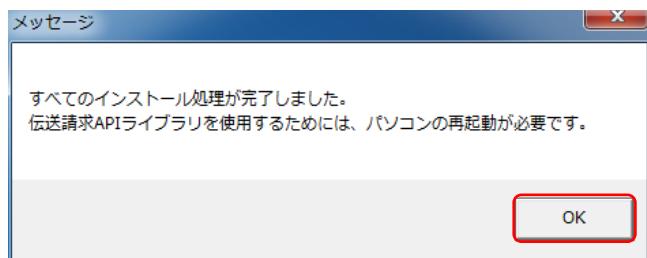
13. [インストール]ボタンをクリックしてください。



14. インストール処理が完了するまでお待ちください。



15. [完了]ボタンをクリックしてください。



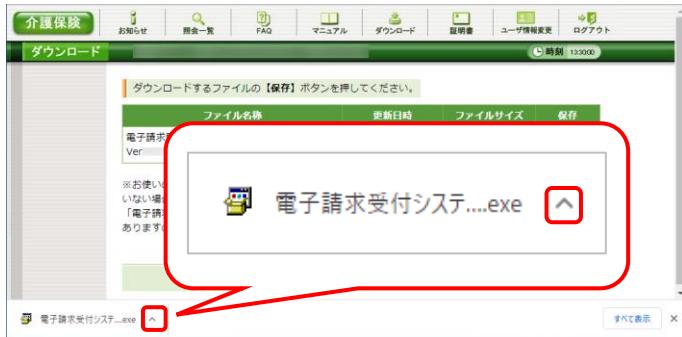
16. [OK]ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

※ 「传送請求 API ライブラリを使用するためには、
パソコンの再起動が必要です。」
のメッセージが表示されない場合、
パソコンの再起動は不要です。



Google Chrome でファイルをダウンロードする場合

Google Chrome の場合、以下の手順でファイルをダウンロードすることができます。



1. 画面下部に通知バーが表示されるので、 をクリックします。



2. 表示されたメニューより[フォルダを開く]をクリックします。

保存先のフォルダが表示されるので、[手順 8.]より操作を行い、[伝送請求 API ライブライアリ]のバージョンアップを行ってください。

インストール処理が途中でエラーになった場合について

1. インターネット接続がされていない

電子請求受付システム 統合インストーラの処理において、以下のメッセージが表示された場合、インターネット接続がされていない可能性があります。



電子請求受付システム 統合インストーラでは一部のソフトウェアをインターネットから取得しインストールを行うため、インターネット接続が必要となります。

インターネットへの接続確認後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

2. ウイルス対策ソフトの機能により処理が中断されている

2-1 ご使用のウイルス対策ソフトがウイルスバスターの以下のエディションである場合

ウイルスバスター コーポレートエディション
ウイルスバスター ビジネスセキュリティ(Trend Micro ビジネスセキュリティ)

ウイルスバスターの設定画面より、[挙動監視]機能の設定状態を確認してください。

[挙動監視]機能が有効にされていた場合は、一時的に無効に変更してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、[挙動監視]機能を有効にしてください。

2-2 ウイルスバスター以外のウイルス対策ソフトを使用している場合

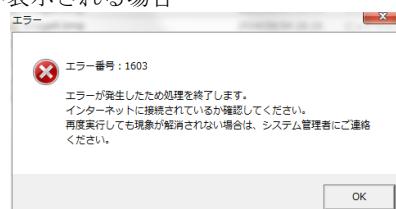
「コンピュータを監視し、不正な変更が行われないよう保護する」等の機能が存在する場合、該当機能を一時的に無効に変更してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、該当機能を有効にしてください。

2-3 2-1,2-2 の対策を行ってもインストーラの処理が中断される場合、

または以下のメッセージが表示される場合



以下のいずれかの対策を実施してください。

対策 1

ウイルス対策ソフトを一時的に無効化してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、ウイルス対策ソフトを有効にしてください。

対策 2

対策 1 を実施できない場合、電子請求受付システム 統合インストーラによってインストールするソフトウェアの一部をインターネットより取得してください。

【プログラムと機能】画面等より、該当のソフトウェアがインストールされているか確認し、必要なソフトウェアのインストールを行ってください。

個別にインストールを行った後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

個別にインストールを行うソフトウェアについて

①	【対象ソフトウェア】	
	(1) Microsoft .NET Framework 4.6.2	左記(1) (Microsoft .Net Framework 4.6.2) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(1)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。
②	【取得 URL(1)】	<p>【Microsoft .Net Framework 4.6.2 の確認方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 OS が Microsoft Windows 8.1 の場合 【プログラムと機能】画面には表示されません。 Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上がインストールされているか確認する場合、[P9 Windows 8.1 の場合]を参照してください。 ・対象 OS が Microsoft Windows 10、または Microsoft Windows 11 の場合 【プログラムと機能】画面には表示されませんが、OS に付随して Microsoft .Net Framework 4.6.2 以上がインストール されているため、Microsoft .Net Framework 4.6.2 のインストールを行う必要はありません。
	【取得 URL(2)】	左記(2) (Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86)) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(2)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。
③	【取得 URL(2)】	<p>【Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86)の確認方法】</p> <p>下図を参考に、【プログラムと機能】画面にて一覧に表示されているか確認してください。</p>
	【取得 URL(3)】	<p>左記(3) (Microsoft Edge WebView2 Runtime) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(3)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。</p> <p>【Microsoft Edge WebView2 Runtime の確認方法】</p> <p>下図を参考に、【プログラムと機能】画面にて一覧に表示されているか確認してください。</p>

【プログラムと機能】画面 ※下図は Windows 10 の画面です。





Windows 8.1 の場合

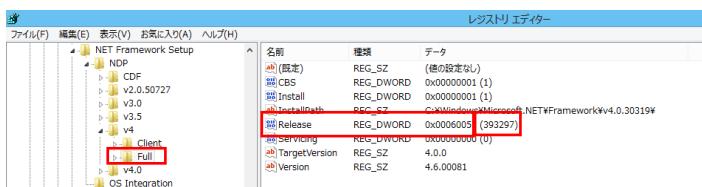
Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上 がインストールされているか確認する手順について説明します。
この手順は、管理者権限のあるアカウントで行ってください。



1. 画面右上にカーソルをあわせ、チャームバーを表示し、[検索]をクリックします。



2. [regedit]と検索し、《検索結果》欄の [regedit]をクリックします。



3. レジストリーエディターが起動するので、左側のメニューより以下のサブキーを表示します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software
\Microsoft\NET Framework Setup
\NDP\v4\Full

右側に表示される[Release]の《データ》欄を確認します。括弧内の値が **394806** 以上であれば.NET Framework 4.6.2 以上 がインストールされています。

1. アンインストール手順

アンインストールを行う場合、下記ソフトウェアのアンインストールを個別に実行する必要があります。

- ・ 伝送請求 API ライブライ
- ・ 署名・復号ツール（介護）
- ・ Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86) (※1)
- ・ Microsoft .NET Framework 4.6.2 (※1)(※2)
- ・ Microsoft Edge WebView2 Runtime (※1)

※1 伝送請求 API ライブライ以外のアプリケーションが該当のソフトウェアを使用している場合があるため、使用状況が不明な場合はアンインストールしないでください。

※2 対象 OS が Microsoft Windows 10、または Microsoft Windows 11 の場合、Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上が標準でインストールされているため、アンインストールすることはできません。

対象 OS が Microsoft Windows 8.1 の場合、【プログラムと機能】画面を表示したあと、
《インストールされた更新プログラムを表示》をクリックし、表示された一覧より
[Microsoft Windows (KB3151864)の更新プログラム]をアンインストールしてください。

アンインストールは通常のアプリケーションと同様に【プログラムと機能】画面から行ってください。

※下記は Windows 10 の場合の画面イメージです。

